

報告第13号

豊岡まちづくり株式会社第25期の決算及び第26期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和2年6月11日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

令和2年5月29日

豊岡まちづくり株式会社

事業報告

第25期

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第25期（平成31年(令和1年)度）事業報告

事業概況

平成31年度の地場の経済環境におきましては、靴業界を含め前年に引き続き厳しい状況下の中推移して行った1年であったように見受けられます。ただ、当社にとりましては靴ショップでの直販がカバンストリートとの相乗効果もあり年間を通して好調に推移し、ネットサイトでの販売も売上を伸ばして参りました。来客数につきましても、ネットショップでの検索によるアルチザンの周知や、前年設置しました国道沿いへの宵田バス停のカバン看板の効果、更にリピーターの来客も増えて安定した集客を維持することが出来ました。

今年度の当社の事業としましては、前年度と同じく、アルチザン事業ではショップ直販を中心とした靴販売の「アトリエショップ部門」とネットサイトでの靴販売の「アトリエネット部門」、靴職人養成スクールの「スクールⅠ部門」と豊岡市の委託業務であります靴企業社員向けの財布革小物講座を中心とした「スクールⅡ部門」の4つの部門、そして学校給食配送事業では、「学校給食配送部門」の1つの部門で計2事業5部門に取り組みました。

アトリエショップ部門では、店頭販売で来客数の増加や購入単価の伸びにより、ほぼ年間を通して前年度を上回る売上（5.0%増）になりました。

同じくアトリエネット部門では、前年度に引き続きECサイト運営に力を入れ、時宜を得たトップページの作成更新や季節イベントでの商品特集の工夫、また、ネットアクセス者へのきめ細かな相談対応などで購買ロスを抑えて売上増を目指しました。売上に波があるものの、こちらも年間を通して前年度を上回る売上（18.8%増）となりました。

スクールⅠ部門につきましては、北海道から香川県まで全国から12名の生徒がアルチザンスクールへ入学しました。1名病欠で減員しましたが、1年間帆布物から革物まで靴作りに励み、その内1名が豊岡の靴企業に就職、1名が豊岡で就学し、5名が東京、大阪、神戸、長野の靴企業へ就職しました。講師陣は常勤講師を1名増員して計3名とし、東京からの短期デッサン担当講師1名との4名体制で授業を行いました。

スクールⅡ部門につきましては、豊岡市からの委託事業であります「革製靴・革小物生産能力育成業務」を行い、5年間事業の最終年度を終了しました。今年度、受講社員を中心に数社が財布事業を立ち上げ、令和2年5月度からはアルチザン財布専科の開校も予定しています。その他、昨年引き続き、3月には当スクールで日本靴ハンドバッグ協会主催の2級と3級の技術認定試験が行われました。

豊岡市の委託業務であります学校給食配送部門につきましては、平成30年度より令和2年度までの3年間の契約の中で、2年目として1年間学校給食を市内の小学校6校、中学校3校へ遅滞なく安全無事故で届けることが出来ました。

部門別業績状況

アルチザン事業アトリエショップ部門では、ショップ直販の売上が好調に推移し、トータルではアトリエショップ部門の純売上高は対前年3,770千円増(5.0%増)の78,353千円になりました。

また、売上原価は45,219千円、販売費及び一般管理費は26,251千円となり、営業利益は対前年3,872千円増(128.6%増)の6,882千円となりました。

アルチザン事業アトリエネット部門では、本格的にネット販売に取り組んで3年目を迎える中、純売上高は対前年5,272千円増(18.8%増)の33,305千円になりました。

また、売上原価は17,376千円、販売費及び一般管理費は14,460千円となり、営業利益は対前年1,580千円減(51.8%減)の1,468千円となりました。

アルチザン事業スクールⅠ部門では、生徒が前年より1名減の11名となり、入学金・授業料収入で純売上高は対前年518千円減(3.6%減)の13,722千円、販売費及び一般管理費は13,643千円で、営業利益は1,577千円減(95.2%減)の78千円となりました。

アルチザン事業スクールⅡ部門では、収入は市の委託料で、純売上高は対前年1,094千円減(7.5%減)の13,483千円となりました。販売費及び一般管理費は12,110千円となり、営業利益は対前年2,616千円減(65.5%減)の1,372千円となりました。

学校給食配送事業の給食配送部門につきましては、受託料の純売上高は対前年1,092千円増(8.9%増)の13,268千円となりました。学校給食の配送業務は4台の給食配送車を使用し、12名の従業員によって市内の小中学校9校へ給食を配送しました。

販売費及び一般管理費は対前年511千円増(4.9%増)の10,871千円となり、営業利益は582千円増(32.0%増)の2,396千円となりました。

総合業績状況

事業全体で見ますと、今期の純売上高では、アトリエショップ部門、アトリエネット部門が好調で対計画と対前年共に増収となり、部門合計9,043千円の増となりました。スクールⅠ部門とスクールⅡ部門は定員が減少したこともあり、対計画・前年共にマイナスとなりましたが、その他の部門で増収となり、対前年8,524千円増(5.9%増)の152,133千円となりました。

売上原価は、対前年399千円増(0.6%増)の62,595千円でした。

販売費及び一般管理費につきましてはアトリエショップ部門やアトリエネット部門の売上増による支払手数料の増、スクールⅠ部門の教材費の増があり全体では対前年9,443千円増(13.9%増)の77,338千円となりました。

よって、営業利益は、部門合計で対前年1,319千円減(9.7%減)の12,199千円となりました。

また、今期は、雑収入として関西電力主催のはびeポイント事業で811千円、豊岡商業協同組合の利用分量配当金148千円など、1,142千円となり、経常利益は対前年604千円減(4.3%減)の13,346千円となりました。

税引前当期純利益も同じく13,346千円、税引後当期純利益は法人税、住民税及び事業税が3,371千円となりましたので、対前年205千円減(2.0%減)ではありますが、9,974千円を確保できました。

事業につきましては、アトリエショップ部門の中でショップ直販の重要性を踏まえ取り組みましたが、今一つ伸びず、多様な販売チャンネルによる更なる展開が必要であると感じた年であったように思います。一方でネット販売業務は着実に売上を上げてきており、実店舗とネットが更に連携しながら飛躍して行けるものと考えております。

また、スクール事業におきましては、アルチザンスクールも6年目を終え、50数名の若者が豊岡を中心に巣立って行きました。アルチザンスクールでの熱い思いを持って今後も活躍されることを期待しています。

また、財布革小物講座では、昨年引き続き、東京からの講師と靴企業の社員の方が財布作りの技術の習得に一生懸命取り組まれました。今後も財布作りが豊岡の靴産業の中に根付くことを目指して取り組んで参ります。

学校給食配送事業につきましては、豊岡の子供たちが健やかに成長することを願い、その思いを持ちながら、事故のない配送業務を心掛けて参りました。

当社も会社設立から25年が経ち、また、アルチザン事業を立ち上げて6年が経過しました。ここまで来られたのも、偏に株主の皆様や関係各位のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。

今後も更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

以上

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

(単位：千円)

区 分		第22期 (平成28年度)	第23期 (平成29年度)	第24期 (平成30年度)	第25期 (平成31年度)
アルチザン事業		93,947	102,749	131,434	138,865
内訳	アトリエ	68,644	76,621	102,616	111,659
	スクール	25,303	26,127	28,818	27,206
学校給食配送事業		11,500	11,500	12,175	13,268
合 計		105,447	114,249	143,609	152,133

◇営業成績の推移

(単位：千円)

区 分	第22期 (平成28年度)	第23期 (平成29年度)	第24期 (平成30年度)	第25期 (平成31年度)
営業利益	5,814	7,330	13,518	12,199
経常利益	9,861	9,394	13,950	13,346
当期純利益	7,124	7,224	10,180	9,974
総資産	101,928	110,236	128,776	132,078
純資産	80,043	87,267	97,447	107,422

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	502株

(3) 役員の状況

	役職名	役員名
1	代表取締役	やまきま としゆき 山崎 俊幸
2	代表取締役	はしもと かずのり 橋本 和則
3	取締役	ゆり しょうさぶろう 由利 昇三郎
4	取締役	うえむら けんじ 植村 賢仁
5	取締役	はくら よしのり 羽倉 嘉徳
6	取締役	あだち てつひろ 足立 哲宏
7	取締役	さかもと なるひこ 坂本 成彦
8	取締役	うの たかや 卵野 隆也
9	取締役	きぬがわ かつのり 衣川 克典
10	監査役	うまた まさひこ 浮田 昌彦
11	監査役	つかもと しげき 塚本 繁樹

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社員	6	男 4名、女 2名
パート	14	男 12名、女 2名
合計	20	

貸借対照表

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 120,444,271】	【流 動 負 債】	【 22,718,155】
現 金 ・ 預 金	101,830,285	買 掛 金	7,495,426
売 掛 金	12,047,558	未 払 費 用	42,782
商 品 ・ 製 品	4,752,093	未 払 金	1,737,856
材 料	476,890	未 払 法 人 税 等	1,490,000
貯 蔵 品	986,270	未 払 消 費 税 等	2,331,600
仮 払 金	41,515	前 受 金	9,320,000
前 払 金	429,660	預 り 金	300,491
貸 倒 引 当 金	△120,000	【固 定 負 債】	【 1,937,817】
【固 定 資 産】	【 11,634,353】	長 期 未 払 金	1,937,817
[有 形 固 定 資 産]	[11,086,617]		
建 物	766,643	負 債 合 計	24,655,972
建 物 附 属 設 備	167,758		
構 築 物	1	純 資 産 の 部	
工 具 器 具 備 品	9,851,414	【株 主 資 本】	【 107,422,652】
土 地	300,801	[資 本 金]	[91,800,000]
[無 形 固 定 資 産]	[299,936]	[利 益 剰 余 金]	[15,622,652]
電 話 加 入 権	299,936	(其 他 利 益 剰 余 金)	(15,622,652)
[投 資 其 他 の 資 産]	[247,800]	繰 越 利 益 剰 余 金	15,622,652
出 資 金	30,000	(う ち 当 期 純 利 益)	(9,974,666)
長 期 前 払 費 用	217,800	純 資 産 合 計	107,422,652
資 産 合 計	132,078,624	負 債 ・ 純 資 産 合 計	132,078,624

損 益 計 算 書

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	金	額
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	138,865,077	
学校給食配送事業収入	13,268,061	152,133,138
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	2,403,463	
仕 入 高	65,421,292	
合 計	67,824,755	
期 末 棚 卸 高	5,228,983	62,595,772
売 上 総 利 益		89,537,366
【販売費及び一般管理費】		77,338,068
营 業 利 益		12,199,298
【营 業 外 收 益】		
受 取 利 息	3,391	
受 取 配 当 金	600	
雑 収 入	1,142,811	1,146,802
経 常 利 益		13,346,100
税引前当期純利益		13,346,100
法人税、住民税及び事業税		3,371,434
当 期 純 利 益		9,974,666

販売費及び一般管理費

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
給料手当	33,316,740	
退職金	1,024,000	
業務委託費	7,171,647	
法定福利費	3,977,507	
福利厚生費	1,097,445	
広告宣伝費	4,148,582	
運賃	1,198,312	
旅費交通費	1,216,563	
教材費	2,435,864	
商品開発費	408,870	
車輛管理費	1,163,774	
通信費	287,456	
水道光熱費	1,314,194	
租税公課	742,200	
消耗品費	1,383,247	
事務費	1,023,752	
賃借料	568,434	
車輛賃借料	1,525,249	
減価償却費	2,236,976	
修繕費	183,000	
保険料	867,440	
支払手数料	8,199,229	
負担金	178,936	
リース料	518,400	
交際費	656,135	
会議費	21,343	
寄附金	6,000	
雑費	463,773	
貸倒引当金繰入	3,000	77,338,068
合 計		77,338,068

部 門 別 損 益

自平成31年 4月 1日 至令和 2年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ ショップ部門	アルチザン・ アトリエ ネットショップ部門	アルチザン・ スクール①部門	アルチザン・ スクール②部門	学校給食配送 事業部門
I 売上高	152,133,138	78,353,986	33,305,286	13,722,228	13,483,577	13,268,061
II 売上原価	62,595,772	45,219,592	17,376,180	0	0	0
III 売上総利益	89,537,366	33,134,394	15,929,106	13,722,228	13,483,577	13,268,061
IV 販売費及び一般管理費	77,338,068	26,251,395	14,460,943	13,643,758	12,110,843	10,871,129
V 営業利益	12,199,298	6,882,999	1,468,163	78,470	1,372,734	2,396,932

株主資本等変動計算書

	株主資本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金		利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金	利益剰余金			
当期首残高	91,800,000	5,647,986		5,647,986	97,447,986	97,447,986
当期変動額						
当期純利益		9,974,666		9,974,666	9,974,666	9,974,666
当期変動額合計	0	9,974,666		9,974,666	9,974,666	9,974,666
当期末残高	91,800,000	15,622,652		15,622,652	107,422,652	107,422,652

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

個 別 注 記 表

自 平成 31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 9,507,779円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

監査の結果

私監査役は、平成31(令和1)年4月1日から令和2年3月31日までの第25期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条の定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限は有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書)及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

令和2年5月15日

監査役

浮田昌彦

塚本繁樹

第26期（令和2年度）事業計画及び収支計画

令和2年度の当社の事業としましては、前期同様アルチザン事業のアトリエショップ部門、アトリエネット部門、及び靴職人養成のスクールⅠ部門、財布革小物製作講座のスクールⅡ部門、そして学校給食配送事業の学校給食配送部門の2事業5部門に取り組みます。

アルチザン事業につきましては、当社の基幹事業である豊岡カバンを引き続き全国へ情報発信すると共に、「カバンストリート」を、インバウンドの方を含む観光客が憩える集客地にすべく、多方面の方々と連携して参ります。また、更なる集客に向けて、靴企業の方々との新商品の協同開発などにも取り組んで参ります。

◇アトリエショップ部門

アルチザン直販店を核として、豊岡カバンの売上増と国内での認知度の向上を図って参ります。昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で、ショップ直販については見通しが立ちにくい状況にあります。目標の売上高を達成できるよう努力したいと考えております。

純売上高としましては、対前年2,497千円増(3.1%増)の80,850千円と見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は、事務費のランニングコスト減等も考慮して対前年878千円増(3.3%増)の27,129千円と見込み、営業利益は対前年753千円増(10.9%増)の7,636千円と想定しております。

◇アトリエネット部門

今年度の純売上高は対前年5,495千円増(16.4%増)で38,800千円と見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は対前年665千円増(4.5%増)の15,125千円と見込み、よって営業利益は対前年2,419千円増(164.7%増)の3,887千円と想定しております。

ネット掲載業者との毎月の対策の見直しや、各種イベント企画の充実、当社による日々のサイト掲載ページの質の向上及びネットアクセス者へのきめ細かなフォローにより購入率の向上を目指します。

◇スクールⅠ部門

令和2年度のアルチザンスクールには、東京都や福岡県など全国各地から13名の若者が入学しました。年々、卒業する生徒の技能も向上しており、今年度の生徒も1年後には靴産業の戦力になって行くものと期待しております。

今年度も、講師は豊岡出身の主任講師と東京からのデッサン・デザインの短期特別講師、当校卒業生の講師による4名体制で、よりきめ細かい指導で靴作りを一から教えていきます。その他、靴作りだけではなく、原価計算から靴業界の現状、さらには豊岡市の目指すものなど広く学んで頂きます。

収益につきまして、授業料等収入は対前年3,058千円増(22.2%増)の16,780千円となり、販売費及び一般管理費は対前年249千円増(1.8%増)の13,89

2千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年2,810千円増(3,680.0%増)の2,888千円と想定しております。

◇スクールⅡ部門

豊岡市の委託事業であった「豊岡市革製鞆・革小物生産能力育成」業務は、前年度3月で終了し、今年度5月から「財布専科スクール」として6名の受講者でスタートして参ります。本事業は、受講料収入により運営する予定です。

初年度は年間10名の受講生を予定し、収入は年3,900千円、販売費及び一般管理費は年6,898千円と見込み、営業利益は対前年△2,998千円と想定しております。

ただ、スクールに関しても新型コロナウイルス感染症の影響もあり、正確な予測が難しい状況にあります。

◇学校給食配送部門

豊岡市の委託事業であり、平成30年8月に一般競争入札により3年7ヶ月間の業務を受託しました。令和2年度は最終年度として、前年度と同じく市内の小学校6校、中学校3校の学校給食配送を行います。

純売上高は第3年度の委託料で、対前年1,054千円増(7.9%増)の14,322千円となります。販売費及び一般管理費は、人件費の若干の増はあるものの、日々の車両点検等の徹底により車両管理費の節減に努め、対前年771千円増(7.0%増)の11,642千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年284千円増(11.8%増)の2,680千円を想定しております。

業務に関しましては、新人の配送スタッフには車両操作講習を開催して早期に習熟してもらい、また、運転者と助手が共に運行管理に責任を持って、日々無事故運行を心掛け、生徒児童へ安心安全をもって給食を届けることに専心しております。

◇総合収支計画

総合では、純売上高はアトリエショップ・ネット部門や学校給食配送部門で売上増を見込み、対前年2,519千円増(1.6%増)の154,652千円と想定しております。

売上原価は対前年3,277千円増(5.2%増)の65,872千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年2,652千円減(3.4%減)の74,686千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年1,894千円増(15.5%増)の14,093千円と想定しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は計り知れず、困難な運営が予想されます。目標に向けて少しでも利益を確保していく所存です。

令和2年度は、当社にとって非常に厳しい年度となることは必至であります。役員一丸となって業績向上に向けて邁進して参りますので、株主の皆様におかれましても引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第26期 令和2年度収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第25期	第26期							備 考
	総 合	対前期 増減	総合(合計)	アトリエ部門 ショップ	アトリエ部門 ネット	スクール部 門Ⅰ	スクール部 門Ⅱ	給食配送 部門	
純売上高	152,133	2,519	154,652	80,850	38,800	16,780	3,900	14,322	
売上原価	62,596	3,276	65,872	46,084	19,788	0	0	0	
販売管理費	77,338	△ 2,652	74,686	27,129	15,125	13,892	6,898	11,642	
営業利益	12,199	1,895	14,094	7,637	3,887	2,888	△ 2,998	2,680	
営業外収益	1,147	△ 1,147	0	0	0	0	0	0	
営業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常利益	13,346	748	14,094	7,637	3,887	2,888	△ 2,998	2,680	
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	
税引前純利益	13,346	748	14,094	7,637	3,887	2,888	△ 2,998	2,680	

報告第14号

株式会社日高振興公社第26期の決算及び第27期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和2年6月11日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社 日高振興公社 第26期 事業報告

1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、10月の消費増税に伴い、軽減税率や幼児教育の無償化などが実施されましたが、国内小売業の売上業績はキャッシュレス決済を導入後もスーパーや百貨店では大きく落ち込んでいます。また、さらに深刻なのが、新型コロナウイルス感染拡大による国内・世界経済への影響です。先行きの見えない不安と自粛要請により、特に観光業は大きな影響を受け、事業の継続が難しくなっています。

また、但馬地域においても10月の消費増税により、売上が落ち込み、1月以降は暖冬による雪不足の為、神鍋高原スキー場の入山者は、昨年を大幅に下回り2万3千人(6万6千人減)となりました。一昨年から比べてみると11万1千人減少と観光業に深刻な影響を受けました。暖冬による落ち込みを挽回できぬまま、2月下旬以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、観光客は激減し、イベント自粛が追い打ちをかける形で残念ながら今期を終えることとなりました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、兵庫県内の道の駅めぐり、他府県の事業所訪問やコンサルタントの指導、地元企業・高校生との連携強化により、イベント集客・ランチビュッフェの演出・店舗展開(坪単価・客単価アップ)等、「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、各部門ごとに経費実態・新規イベント計画・新商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施し、様々な取り組みを行いました。

○来客数

道の駅「神鍋高原」	117,829人	(前年度比:91%	△11,650人)
神鍋温泉ゆとろぎ	65,666人	(前年度比:95%	△3,817人)

結果、当事業年度における業績は、

売上高	181,433千円	(前年度比:93%	△13,293千円)
営業利益	△4,336千円	(前年度比:—%	△6,731千円)
経常利益	△3,195千円	(前年度比:—%	△7,304千円)
当期純利益	△2,600千円	(前年度比:—%	△6,498千円)

(前年度:3,898千円)となりました。

(1) 道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

今年は客単価アップを図る為、よりどり 3 個 1,000 円のセット販売を始め、売上 1,900 千円となりました。さらに、冷蔵ショーケースの増加に加え、新たに冷凍ショーケースを新設しました。夏合宿用に飲料・アイスクリームを、冬のスキー客に向けて、冷凍かにすきセットなどを販売し、売り上げに貢献しました。10 月には駐車場内に全但バス路線経路を設ける他、お客様への利便性向上を図る為、駐車台数を 35 台増加し、合計 123 台を確保することができました。

一方、継続的な取り組みとして、香住高校生が製造したサバの缶詰の販売や、新たに自社として食肉販売業の許可を取得したことで、但馬農業高校生加工の但馬鶏の冷凍肉販売及び花卉の販売などを行いました。

イベントでは高校生を中心に、地元企業や行政施設の地域交流を目的とした「暖 da 団まつり」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により、急遽中止となりました。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品（PB 商品）と位置付け、他店舗との差別化を図りました。

○高校生商品	年間販売数： 1,700 個	売上金額： 942 千円
○よりどり 3 個セット	年間販売数： 1,184 個	売上金額： 1,184 千円
○キャベツチップ	年間販売数： 4,171 個	売上金額： 2,073 千円
○ほんまもん神鍋	年間販売数： 11,219 個	売上金額： 7,250 千円

② 飲食部門

毎年 7 月・8 月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」は 8 年目を迎え、客数 670 名、売上 1,833 千円、バス利用 362 名(客数比 54%)となり、神鍋の夏の風物詩として浸透しています。

平日の集客に向け、初めて実施した地元食材を使用した「ミックスフライ定食」を定番化しました。販売数量 1,094 食、売上金額 1,012 千円となり、定食の中では一番人気のメニューとなりました。また、地元商工会と連携して八鹿豚のコロッケを使用した定食の試験販売を開始しました。次年度に向け、平日の集客に繋がるメニュー開発を行っています。

土、日、祝日のランチビュッフェでは、客数 16,288 名、売上金額 17,169 千円となり、昨年より客数 288 名、売上金額 169 千円と僅かながら増加しています。

また、毎月定休日を設けた効率的な運営は経費削減に繋がる一方、定期的な清掃・点検日とすることで衛生面にも目配りができる環境となっています。

(2) 神鍋温泉ゆとろぎ

4月は但東チューリップまつりのチューリップ湯をはじめ、菖蒲湯やゆず湯など、地域連携による季節湯を実施し、見た目や香りも楽しんでいただけたことと思います。

また、暖冬の影響により「スキーリフト券利用者割引」の利用者は1,775名(前年比24%)と大きく落ち込んでいます。一方、継続事業のフォレストアドベンチャー奥神鍋(450名利用)、パラグライダースクール(152名利用)、但馬ドーム(109名利用)、全但バス神鍋線(284名利用)と提携した割引サービスは非常に効果があり利用者は増えています。

本年度の新たな取り組みとして、①団体利用の混雑緩和の為の事前告知、②給水器や足ふきマットの増設など、③団体客に備えた対応マニュアルの作成などを行いました。

また、毎週水曜日に定休日を設け、大浴槽のろ過機や男性サウナの修繕工事を実施し、お客様に気持ちよく利用していただけるように、衛生面・設備面での管理を強化しました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 24 期	第 25 期	第 26 期
売店部門	125,684	116,322	107,315
飲食部門	41,477	36,015	32,510
温泉部門	41,654	38,382	37,654
市受託料	4,026	4,006	3,954
合 計	212,841	194,725	181,433

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 24 期	第 25 期	第 26 期
経常利益	5,306	4,109	△3,195
当期純利益	5,094	3,898	△2,600
総資産	39,231	37,761	34,296
純資産	21,299	25,196	22,597

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	久 田 喜三郎
取 締 役	岡 藤 泰 明
取 締 役	小 谷 士 郎
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	原 清 美
監 査 役	小 林 辰 美
監 査 役	伊 藤 豊 秀

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社 員	5	男性 3 人、女性 2 人
パート	14	男性 2 人、女性 12 人
計	19	男性 5 人、女性 14 人

決 算 報 告 書

第 26 期

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 2年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 27,890,370】	【流動負債】	【 11,699,455】
現金及び預金	24,122,216	買掛金	658,224
売掛金	285,596	受託未払金	2,319,898
商品	427,434	未払金	6,782,595
原材料	486,940	預り金	53,538
貯蔵品	518,804	法人税等充当金	213,200
未収入金	2,049,380	未払消費税	1,672,000
【固定資産】	【 6,405,686】	負債の部計	11,699,455
(有形固定資産)	(5,916,552)	純資産の部	
建物	3,357,172	【株主資本】	【 22,596,601】
建物附属設備	207,833	[資本金]	[36,000,000]
車両運搬具	2	[利益剰余金]	[Δ13,403,399]
工具器具備品	2,313,385	利益準備金	9,000,000
一括償却資産	38,160	(その他利益剰余金)	(Δ22,403,399)
(無形固定資産)	(489,134)	繰越利益剰余金	Δ22,403,399
ソフトウェア	489,134	(うち当期純利益)	(Δ2,599,790)
		純資産の部計	22,596,601
資産の部計	34,296,056	負債・純資産の部計	34,296,056

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成31年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 店 売 上	107,315,244	
市事業委託料等	3,954,288	
レストラン売上	32,509,825	
温 泉 売 上	37,653,564	181,432,921
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	855,689	
仕 入 高	75,746,914	
材 料 費	13,873,558	
合 計	90,476,161	
期 末 棚 卸 高	914,374	89,561,787
売 上 総 利 益		91,871,134
【販売費及び一般管理費】		96,207,251
営 業 利 益		△4,336,117
【営業外収益】		
受 取 利 息	5,762	
雑 収 入	1,135,043	1,140,805
【営業外費用】		
雑 損 失	100	100
経 常 利 益		△3,195,412
【特別利益】		
国 庫 補 助 金	807,500	807,500
税引前当期純利益		△2,387,912
法人税等充当額		211,878
当 期 純 利 益		△2,599,790

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成31年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	4,313,800
給 料 手 当	32,651,427
福 利 厚 生 費	6,818,711
雑 給	6,505,838
シルバー委託費	2,450,482
広 告 宣 伝 費	2,083,727
運 賃	60,068
燃 料 費	5,703,355
衛 生 費	7,375,631
一括資産償却費	174,260
水 道 光 熱 費	10,845,287
会 議 費	67,224
事 務 費	1,308,153
消 耗 品 費	3,023,933
地 代 家 賃	38,100
支 払 保 険 料	594,190
修 繕 費	813,690
租 税 公 課	4,011,500
減 価 償 却 費	2,806,968
接 待 交 際 費	329,735
旅 費 交 通 費	83,760
通 信 費	421,424
支 払 手 数 料	2,055,103
賃 借 料	1,054,671
諸 会 費	451,600
購 読 費	48,944
雑 費	115,670
合 計	96,207,251

株主資本等変動計算書

株式会社 日高振興公社	(単位:円)										平成31年 4月 1日	自	至	令和2年 3月31日
	株 主 資 本					株 主 資 本					株 主 資 本 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	そ の 他 の 資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	そ の 他 の 剰 余 金	資 本 準 備 金	利 益 剰 余 金	そ の 他 の 剰 余 金	株 式	株 合				
当期首残高	36,000,000				19,803,609	9,000,000	19,803,609			25,196,391			25,196,391	
当期変動額							2,599,790			2,599,790			2,599,790	
当期純利益							2,599,790			2,599,790			2,599,790	
当期変動額合計							2,599,790			2,599,790			2,599,790	
当期末残高	36,000,000				22,403,399	9,000,000	22,403,399			22,596,601			22,596,601	

	利益剰余金の内訳	
	利益準備金	利益剰余金合計
当期首残高	9,000,000	19,803,609
当期変動額		2,599,790
当期純利益		2,599,790
当期変動額合計	9,000,000	22,403,399
当期末残高		22,403,399

個 別 注 記 表

自 平成31年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 2年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に

取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産 …………… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …………… 35,781,952 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 31,384 円 16 銭

1株当たりの当期純利益 …………… △3,610 円 81 銭

監 査 報 告

私監査役は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第26期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和2年5月25日

監査役 小林辰美

監査役 伊藤豊秀

報 告 書

上記のとおりご報告申し上げます。

令和2年6月4日

株式会社 日高振興公社

代表取締役社長 岡 森 且 哉

専務取締役 久 田 喜三郎

取締役 小 谷 士 郎

取締役 原 清 美

取締役 村 上 勝 幸

取締役 岡 藤 泰 明

株式会社 日高振興公社 第27期（次期）事業計画及び予定損益計画

事業計画

2020年度当初、新型コロナウイルス感染症拡大により、国の緊急事態宣言が出され、感染症拡大防止のための不要不急の外出自粛要請や施設への休業要請の措置などにより、社会経済活動が制限され、当社においても休業を実施するなど大きな打撃を受けました。

さらに、新型コロナウイルス感染の「第2波」に対する懸念があり、今後も大変厳しい状況となることが予想されます。

全国の「道の駅」は、2020年4月までに1,173駅（昨年比較22駅増）が登録され、毎年競争が激しくなる一方で、当社においてもより地域の特性を活かした道の駅づくりが求められているところです。また、北近畿豊岡自動車道の日高豊岡南道路（日高神鍋高原インター～但馬空港インター）が2020年秋に開通する見通しとなり、当道の駅は、単なる通過点ではなく目的地としてさらに魅力アップを図る必要があります。

具体的には、今期も但馬地域の企業や団体との連携・地域資源を活かし、6次産業の振興や活性化を図るための事業を展開します。

売店部門では、新たな取組みとして神鍋高原の特産品開発を実施します。また、消費者の多様なニーズに対応するため、インターネットを利用した通信販売システムの導入を図り、新規顧客の開拓を行い販路を拡大します。

飲食部門では、需要のあるテイクアウト商品を充実し売上を伸ばします。また、高額メニューの開発により収益率向上を目指します。

温泉部門では、引き続き入浴料とバスタオル込みのセット販売など、バリエーションを増やし客単価の底上げを行います。

また、「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、フェイスブックや全国の道の駅ネットワークによる情報提供など、多様なチャンネルによる情報発信を行います。さらに、季節の野菜等の販売やイベント開催の告知をする幟旗を新調し、神鍋高原の魅力を分かりやすく施設に設置し発信します。

神鍋高原において今年予定している各種イベントや夏季スポーツ大会については、開催の自粛や延期、中止などが決定されています。イベントや大会開催を中心とした集客展開からの変革が求められているところであり、新たな宣伝方法や販売形態による集客を検討し、但馬はもとより市内からの利用者を増やすための仕組みづくりやサービスの提供を実施していきます。

当社において、今期も「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、常に話題性に富んだ事業の展開を図り、地域の賑わいを創り出すための取組みを展開していきます。

予定損益計画

予定損益計算書

自 令和2年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和3年3月31日

科 目	金 額	額
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	212,500,000	
受 託 料 等	4,000,000	
		216,500,000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	915,000	
材 料 費	16,000,000	
仕 入 高	93,370,000	
合 計	110,285,000	
期 末 棚 卸 高	915,000	111,200,000
売 上 総 利 益		105,300,000
【販売及び一般管理費】		102,300,000
営 業 利 益		3,000,000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	279,000	280,000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等		
雑 損 失		
経 常 利 益		3,280,000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 令和2年4月1日

株式会社 日高振興公社

至 令和3年3月31日

科 目	金 額	円
役員報酬	4,300,000	
給料手当	34,000,000	
退職給与引当金戻入	0	
福利厚生費	7,500,000	
雑給	6,500,000	
シルバー委託費	2,500,000	
広告宣伝費	3,100,000	
運賃	100,000	
燃料費	6,400,000	
衛生費	7,500,000	
水道光熱費	11,500,000	
一括資産償却費	150,000	
会議費	170,000	
事務費	1,600,000	
消耗品費	3,000,000	
地代家賃	40,000	
支払保険料	600,000	
修繕費	2,000,000	
租税公課	4,000,000	
減価償却費	2,700,000	
接待交際費	350,000	
旅費交通費	100,000	
通信費	420,000	
支払手数料	2,100,000	
貸借料	1,000,000	
諸会費	500,000	
購読費	50,000	
雑費	120,000	
合 計		102,300,000

報告第15号

株式会社シルク温泉やまびこ第16期の決算及び第17期の事業計画に
関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和2年6月11日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

報告承認事項

第 16 期事業報告及び決算報告

1 事業報告

今年度は温泉の入浴者数を大幅に伸ばすことができました。

要因としては、サイト上で発券したクーポン利用者の増(年間 9,788 名)、温泉付きバーベキューの増(年間 2,816 名)があります。またバーベキューを宣伝することにより、自然の郷も増員できました。また 12 月 22 日には温泉入浴者数 550 万人を達成しました。

結果

総売上	376,906 千円	予算比 103.1%	前期比 104.3%
営業利益	4,925 千円	予算比 480.0%	前期比 122.8%
経常利益	10,582 千円	予算比 176.2%	前期比 115.2% となりました。

株主様を始め関係者皆様のご支援、ご協力のおかげで予算達成することができました。ありがとうございます。

各部門の利用者数は、宿泊、休憩 18,339 人 前期比 93.4% 温泉 142,929 人 前期比 105.8%、自然の郷では 2,406 人 前期比 130.5%となりました。

次に部門別売上高が、宿泊 218,464 千円、前期比 99.2%、温泉 89,353 千円、前期比 124.1%、売店 48,698 千円、前期比 94.5%、自然の郷 9,615 千円、前期比 135.5%となりました。

販売管理費におきましては、水道光熱費で前期比△1,332 千円 燃料費で前期比△1,055 千円 衛生費で前期比△427 千円 での 3 項目が多く削減できました。

またお客様により喜んでいただけるように、客室テレビの入替え、温泉窓ガラスの一部交換、和式トイレの洋式化を行いました。

来期も役員、社員一丸となり予算達成に取り組んでまいりますので、株主様をはじめ関係者皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 14 期	第 15 期	第 16 期
宿泊部門	199,492	220,174	218,464
売店部門	51,183	51,520	48,698
食堂部門	7,843	(注)	(注)
温泉部門	73,297	72,023	89,353
自然の郷部門	7,413	7,096	9,615
フィールドゴルフ部門	237	252	216
業務委託部門	6,584	6,551	6,463
自販機売上	3,807	3,837	4,097
合 計	349,856	361,453	376,906

(注)「食堂部門」第15期から年間を通じ外部委託のため、当該区分売上高なし

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 14 期	第 15 期	第 16 期
営 業 利 益	△8,913	4,012	4,925
当 期 純 利 益	△3,280	8,970	10,370
総 資 産	88,162	99,262	106,541
純 資 産	68,186	77,155	87,525

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	岸 本 直 幸
取 締 役	大 井 靖 夫
取 締 役	羽 尻 泰 広
取 締 役	持 田 淳
監 査 役	小 林 辰 美
監 査 役	柴 田 誠 一

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	17	男性 10 人、女性 7 人
パート・契約	7	男性 1 人、女性 6 人
計	24	男性 11 人、女性 13 人

決 算 報 告 書

第 16 期

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

令和 2年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 101,529,115】	【流動負債】	【 19,015,770】
現金及び預金	89,744,648	買掛金	5,697,442
売掛金	6,466,196	未払金	8,249,830
商 品	1,392,233	前受金	52,000
貯 蔵 品	1,279,981	預り金	1,401,198
未収入金	2,593,057	法人税等充当金	211,500
前払費用	63,000	未払消費税	3,403,800
【固定資産】	【 5,011,985】	負債の部計	19,015,770
(有形固定資産)	(4,225,985)	純資産の部	
建 物	819,502	【株主資本】	【 87,525,330】
建物付属設備	1,088,217	[資本金]	[50,000,000]
構築物	27,983	[利益剰余金]	[37,525,330]
車両運搬具	2	利益準備金	12,500,000
工具器具備品	540,281	(その他利益剰余金)	(25,025,330)
建設仮勘定	1,750,000	別途積立金	12,000,000
(無形固定資産)	(126,000)	繰越利益剰余金	13,025,330
敷 金	126,000	(うち当期純利益)	(10,369,887)
(投資その他の資産)	(660,000)	純資産の部計	87,525,330
出 資 金	660,000	負債・純資産の部計	106,541,100
資産の部計	106,541,100		

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成31年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 2年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
宿泊売上高	218,463,103	
売店売上	48,698,201	
温泉売上	89,353,165	
自然の郷売上	9,614,790	
フィールド売上	216,010	
業務委託売上	6,463,000	
自販機売上	4,097,301	376,905,570
【売上原価】		
期首棚卸高	1,143,571	
仕入高	133,716,287	
材料仕入	929,824	
飲料仕入	6,402,664	
合 計	142,192,346	
期末棚卸高	1,392,233	140,800,113
売上総利益		236,105,457
【販売費及び一般管理費】		231,180,447
営業利益		4,925,010
【営業外収益】		
受取利息	5,424	
雑収入	5,651,901	5,657,325
経常利益		10,582,335
【特別利益】		
国庫補助金収入	2,104,000	2,104,000
【特別損失】		
固定資産圧縮損	2,104,000	2,104,000
税引前当期純利益		10,582,335
法人税等充当額		212,448
当期純利益		10,369,887

販売費 - 一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成31年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 2年 3月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	3,372,000
給 料 手 当	73,905,188
法 定 福 利 費	11,785,308
福 利 厚 生 費	2,515,400
雑 給	607,356
シルバー委託費	10,220,296
広 告 宣 伝 費	6,349,179
運 賃	97,041
サ ー ビ ス 費	1,970,090
燃 料 費	14,774,974
衛 生 費	14,689,239
リ ー ス 料	145,220
外 注 費	10,217,014
水 道 光 熱 費	23,559,671
事 務 費	2,567,373
消 耗 品 費	5,405,557
地 代 家 賃	756,000
支 払 保 険 料	756,368
修 繕 費	13,816,622
租 税 公 課	11,187,110
減 価 償 却 費	3,690,612
一括償却資産償却額	36,540
接 待 交 際 費	746,527
旅 費 交 通 費	365,094
通 信 費	1,516,571
支 払 手 数 料	10,361,221
賃 借 料	3,744,724
諸 会 費	487,120
購 読 費	225,172
雑 費	1,309,860
合 計	231,180,447

株主資本等変動計算書

(単位:円)

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ	株主資本		剰余金			資本		評価・換算 差額等合計		新株予約権 純資産合計
	資本金	資本準備金	剰余金のうち 資本剰余金	剰余金のうち 利益剰余金	剰余金のうち その他剰余金	自己株式	株主資本合計	評価・換算 差額等合計	新株予約権	
当期末残高	50,000,000			12,500,000	14,655,443		77,155,443			77,155,443
当期末変動額										
当期繰上利益										
当期変動額合計										
当期末残高	50,000,000			12,500,000	25,025,330		87,525,330			87,525,330

	利益剰余金		剰余金のうち 繰上利益		剰余金のうち 利益剰余金		利益剰余金 合計
	利益剰余金	別途積立金	繰上利益	繰上利益	繰上利益	利益剰余金	
当期末残高	12,500,000	5,000,000		9,655,443		27,155,443	
当期末変動額							
剰余金の内訳科目間の繰替		7,000,000		47,000,000		0	
当期繰上利益				10,369,887		10,369,887	
当期変動額合計		7,000,000		3,369,887		10,369,887	
当期末残高	12,500,000	12,000,000		13,025,330		37,525,330	

個 別 注 記 表

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 ……… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後
に取得した建物附属設備・構築物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 ……… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 ……… 27,634,196 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

令和2年6月3日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金の積立額 …………… 8,000,000 円

次期繰越利益剰余金 …………… 5,025,330 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 87,525 円 33 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… 10,369 円 88 銭

監 査 報 告

私監査役は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの
第16期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、
事業報告及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和2年5月18日

監査役 小林辰美

監査役 柴田誠一

第17期事業計画及び予定損益計画

1 事業計画

新たに社員で決めました経営理念を念頭におき、各々の目標を設定しワンチームで思いやりの心を持ち、より一層お客様に喜んでいただける接客をまいります。

経営理念

自然の恵みに感謝し、みんなの幸せのために三つの理念を掲げて、限りなく前へ進み続けます。

【笑顔】 私たちは、笑顔でたくさんの「ありがとう」を伝える会社を目指します。

【魅力】 私たちは、魅力を伝え、地域が盛り上がる会社を目指します。

【思いやり】 私たちは、思いやりの心を持ち、一つになって前に進む会社を目指します。

予算計画

総売上 302,410千円（前期実績、376,906 千円、△74,496 千円）

営業利益 △37,520千円（前期実績、4,925 千円、△42,445 千円）

経常利益 △32,435千円（前期実績、10,582 千円、△43,017 千円）

今期の具体的な取り組み

- 1 宿泊では、各サイトに出す料金設定をできるだけ下げずに稼働率を上げれるように、丁寧に運営してまいります。また新たな企画を早めに販売してまいります。
- 2 売店では、ABC分析をし商品の入替えを行いPOPを利用し、購買意欲の向上に取り組んでまいります。
- 3 温泉では、前期から増えてきました入浴者数をさらに増やせるように、ハード面の充実をしてまいります。（山の湯内湯の壁、花の湯露天の外塀の修繕）
- 4 昨年度から伸びてきましたバーベキューを中心に、3密を避けれるキャンプ等アウトドア事業に取り組んでまいります。
- 5 費用面では、今期も水道光熱費、燃料費、衛生費の削減に全社で取り組んでまいります。温泉の修繕費2,500千円、アウトドア事業経費3,000千円予算に計上しております。

中長期の計画として、

- 長期勤続によるキャリア形成を図るため、35歳までの社員を募集してまいります。

終わりに、前期から新型コロナウイルス感染症拡大の影響でキャンセルが増加していく中、緊急事態宣言を受け業務の縮小、さらには休業要請を受け全館休業することになりました。この先の見通しがまだわかりませんが、感染防止対策を徹底し、早めのリスタートをかけるように、役員、社員一丸となり早めの企画推進に取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2 予定損益計画

予定損益計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

科 目		金 額	
【経常利益の部】			千円
(営業損益の部)			
【売上高】			
売上高		302,410	
			302,410
【売上原価】			
期首棚卸高		1,144	
仕入高		112,270	
合計		113,414	
期末棚卸高		1,144	112,270
	売上総利益		190,140
【販売費及び一般管理費】			227,660
	営業利益		△ 37,520
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		5	
雑収入		5,080	5,085
	経常利益		△ 32,435

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

科 目				金 額
				千円
役 員 報 酬	給 料	手	当	5,060
法 定 福 利 費		手	当	73,310
福 利 厚 生 費		手	当	12,260
シ ル バ ー 委 託 費		手	当	2,620
広 告 宣 伝 費		手	当	8,100
運 一 ビ ス 賃 費		手	当	6,840
サ ー ビ ス 賃 費		手	当	150
燃 料 生 費		手	当	2,610
衛 生 費		手	当	13,380
リ ー ス 料		手	当	14,210
外 注 費		手	当	150
水 道 光 熱 費		手	当	10,480
事 務 費		手	当	22,960
消 耗 品 費		手	当	2,450
支 払 保 險 料		手	当	3,790
修 繕 費		手	当	880
租 税 公 課		手	当	15,350
減 価 却 費		手	当	12,580
接 待 交 際 費		手	当	830
旅 交 通 費		手	当	1,010
通 信 費		手	当	330
支 払 手 数 料		手	当	1,050
賃 借 料		手	当	10,200
諸 購 読 費		手	当	4,090
地 代 家 賃		手	当	460
雑 費		手	当	300
合 計		手	当	760
		手	当	1,450
		手	当	227,660

